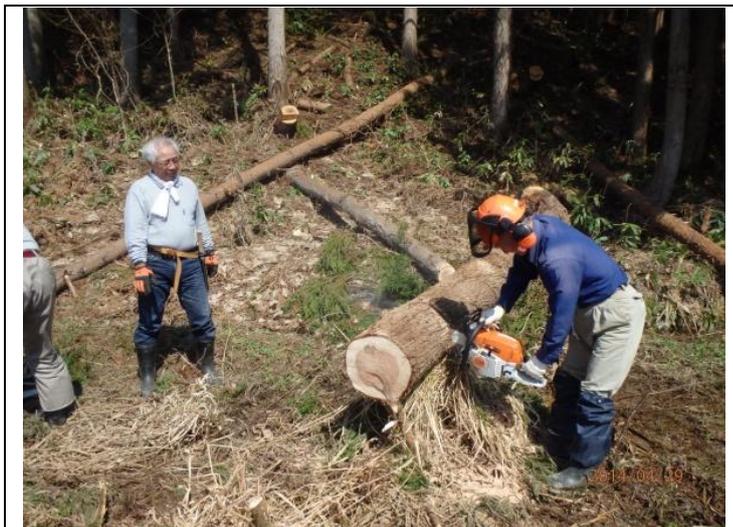


平成26年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金（活動記録）

活動実施日時			活動参加 人数	タイプ	取組	写真番号
実施年月日	実施時間					
	時間帯	実施時間				
4月29日	8:00-17:00	7.5	8	地域環境保全	金沢字茨嶋林班4の間伐と集積処理	1
4月30日	8:00-17:00	7	3	地域環境保全	寺田牧野踏査と茨嶋の集積処理	2
5月24日	8:00-17:10	7	6	地域環境保全	岩礎沢と大持沢の作業道の保全作業	3
5月31日	8:00-17:30	7	5	地域環境保全	岩礎沢と大持沢の作業道の保全作業 金沢御嶽古道の踏査と探索	4
6月21日	8:00-17:10	7	9	地域環境保全	岩礎沢と大持沢の作業道の保全作業 金沢御嶽古道の踏査と開拓	5
6月28日	8:00-17:10	7	7	地域環境保全	岩礎沢の作業道の保全作業 金沢御嶽古道の踏査と開拓	6
7月 6日	8:00-19:30	7	7	地域環境保全	岩礎沢の作業道の保全作業 金沢御嶽古道の踏査と開拓	7
7月12日	8:00-17:00	7	6	地域環境保全	同上	8
7月20日	8:00-17:00	7	9	地域環境保全	同上	9

7月26日	8:00-17:10	7	8	地域環境保全	同上	10
8月 3日	8:00-17:10	7	5	地域環境保全	同上	11
8月24日	8:00-19:30	7	7	地域環境保全	同上	12
8月30日	8:00-17:00	6	6	地域環境保全	同上	13
9月20日	8:00-17:00	6	4	地域環境保全	同上	14
10月5日	8:00-17:10	7.2	6	地域環境保全	新山堂林班7の間伐と集積処理	15
10月11日	8:00-17:10	6	6	地域環境保全	岩碓沢の作業道の保全作業 金沢御嶽古道の踏査と開拓	16
10月18日	8:00-19:30	6	5	地域環境保全	同上	17
10月25日	8:00-17:00	6	6	地域環境保全	岩碓沢2-9小班の保全作業	18
11月 2日	8:00-17:00	6	5	地域環境保全	岩碓沢2-15小班の保全作業	19
11月 8日	8:00-17:00	6.5	5	地域環境保全	大持沢林班1の保全作業	20
11月22日	8:00-17:00	6	5	地域環境保全	岩碓沢2-15小班の保全作業	21

写真番号： 1



取組内容

金沢茨嶋林班4の間伐作業とその集積処理を行う。

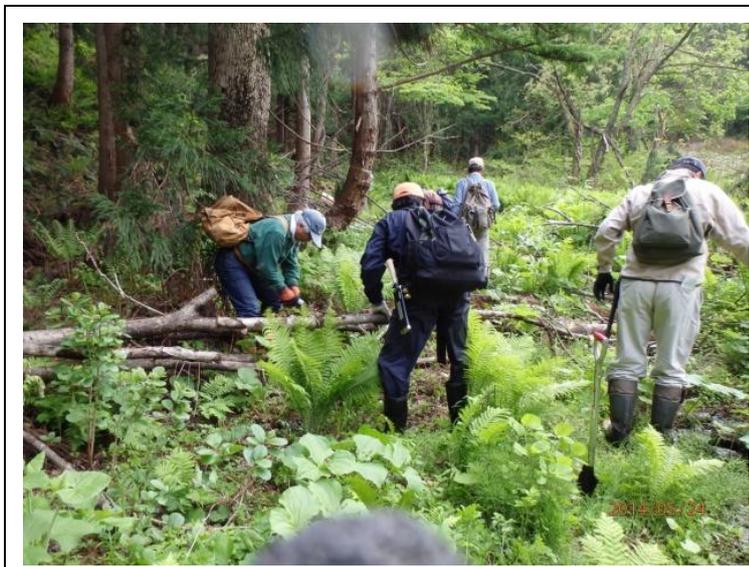
写真番号： 2



取組内容

対象領域である岩碓沢と大持沢周辺を踏査し、雪害の程度を確かめ今年度の作業計画を立てる。予想を超えた雪害があり、残雪も多く5月末にならないと作業ができない。

写真番号： 3



取組内容

岩碓沢と大持沢に至る作業道の土砂崩れと倒木の処理をする。作業道の10箇所を超える所で被害が発生していた。人とキャタピラが通れるようにした。途中でクロサンショウオウオの卵を見つけた。

写真番号： 4



取組内容

岩礫沢に至る作業道を昨年積雪の際に見付け印を付けていたが繁茂した藪のために見付けることが出来ない。GPSと地図を駆使したが同定できなかった。90町歩に及ぶ山は侮れない。

写真番号： 5



取組内容

遂に昨年印したテープを発見した。ここから岩礫沢に至る作業道を開拓し始めた。周囲は生え茂った藪と灌木の連続で作業道を復活させるのに難儀した。クロサンショウウオは卵から成虫に孵っていた。

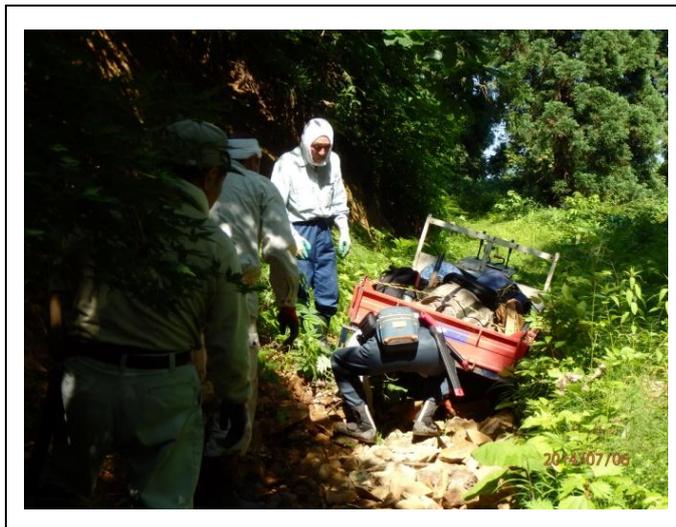
写真番号： 6



取組内容

先週見付けた作業道の跡から岩礫沢への道を開拓する。身の丈を超す藪と灌木の連続で道を確認するのに時間が掛かった。しかし、岩礫沢山頂へ至る場所まで進むことができた。

写真番号： 7



取組内容

キャタピラを用意し山腹まで道具を運搬した。作業効率が向上し、岩礫作業道の保全作業が先に進んだ。古道と作業道は同じ道なので、御嶽が近くなった。鏡沼と三方ヶ原を見付け命名した。あと一歩だが中々。

写真番号： 8



取組内容

まずは、御嶽山の塩湯彦神社に参拝した。今回は御嶽の方から作業道を開拓した。先週まで金沢から登ってきた道と遭遇することを狙った。二年越しの努力が実り遂に西からと東からの作業道が繋がった。ピンクのテープが目印だった。歓びの瞬間を皆で祝った。2014年7月12日は作業道(古道)開通の記念日となった。

写真番号： 9



取組内容

西と東からの道が出遭った場所から西へ作業道を整備しながら進んだ。灌木と竹藪が密集して行く手を阻んだ。チェーンソー、刈払機、ナタ、ノコギリ、山カマ、ハサミで奮闘した。夜に開通の祝宴を開催し。

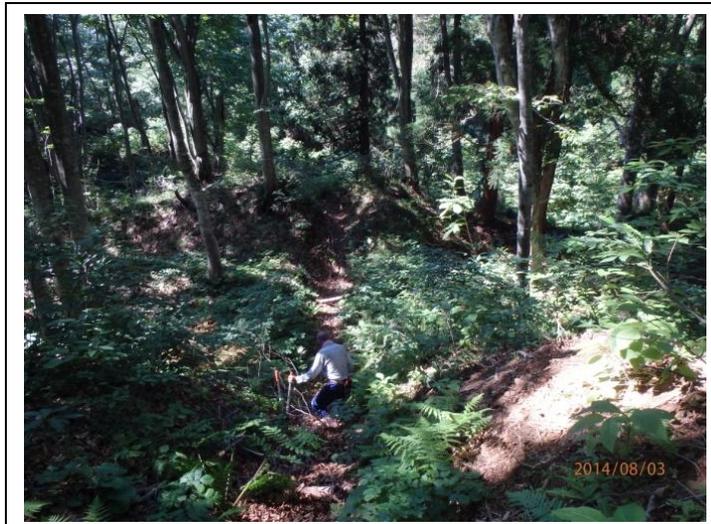
写真番号： 10



取組内容

金沢御嶽の作業道から黒森に到る三叉路を見つけた。その三叉路を西に行けば金沢だし、北進すれば黒森に到着する。遂に、金沢、御嶽、黒森の三角地を結ぶ道の開拓に成功した。この道を通り岩碓沢林班2に行けるようになった。

写真番号： 11



取組内容

金沢、御嶽、黒森の最初の三叉路から二番目の三叉路への作業道の保全作業を行う。急勾配の坂道が三箇所ある。ここにはロープを張るか、迂回路を新たに作る必要がある。

写真番号： 12



取組内容

8月3日の作業の継続を行った。二番目の三叉路から黒森に行く古道が地図上にあるが現状は不明である。来年は確定させたい。午後に最初の三叉路経由で黒森山頂の黒森神社に参拝した。

写真番号： 13



取組内容

岩礫沢に至る作業道の保全作業を行う。岩礫沢2-9小班の下刈りと藪払いをし、集積処理を行う。この領域で樹齢200年を超えるブナを数本発見した。ランドマークブナと命名した。

写真番号： 14



取組内容

大持沢から岩礫沢に至る作業道の新規開拓を目指して、幻沼を突破して岩礫沢山頂に抜ける道を作る。幻沼の上にはかつて歩いたと思われる古道らしき跡があった。更に開拓してみたい。

写真番号： 15



取組内
容

新山堂の間伐とその集積処理を行った。樹齢50年前後の杉で芯折れなどの被害に遭った樹木を対象とした。

写真番号： 16



取組内
容

幻沼の上に作業道を開発すべく試みたが、その先には50メートルに及ぶ断崖があった。そこを超えても古道の跡は見付からず新しい道の開発を断念した。近くて遠きは山道である。

写真番号： 17



取組内
容

御嶽山から岩碓沢林班2-9に行くことにしたが、御嶽山登山口まで行ったら雨が酷くなり山仕事を中止した。事務所に帰り机上でGPS、地図、いままでの作業記録をベースとして今後の作業計画を立てた。

写真番号： 18



取組内容

岩碓沢林班2-9の作業道の保善作業と下刈り、藪払い、集積処理を行った。いままで開拓した作業道を通り2-9小班にようやく辿り着いた喜びは大きい。全山紅葉でこの上なく美しい山である。

写真番号： 19



取組内容

岩碓沢林班2-15への作業道の保善作業。2-15領域の境界を見極め、下刈りと藪払い、集積処理を行う。本町森林生産組合との境界を特定できた。周囲はほとんどがブナ林である。

写真番号： 20



取組内容

大持沢林班1の下刈り、藪払い、集積処理を行う。また、作業道を整備しキャタピラが通れるように改良した。



取組
内容

積雪はあったが、岩碓沢林班2-15の境界を端から端まで特定させるために山に入った。積雪のため却って道がよく分かり作業道を特定し保全作業をやることができた。多くのクマの足跡があり、この辺りはクマの棲息地である。山は深くとても美しい。このブナ原生林を大事にしてゆきたい。